

しぜん
自然

せいたいえんだより

No.65

自然生態園はむかしながらの池や田んぼをのこし、植物や生きものの観察(かんさつ)・お米づくり・自然体験(たいけん)などができる公園です。

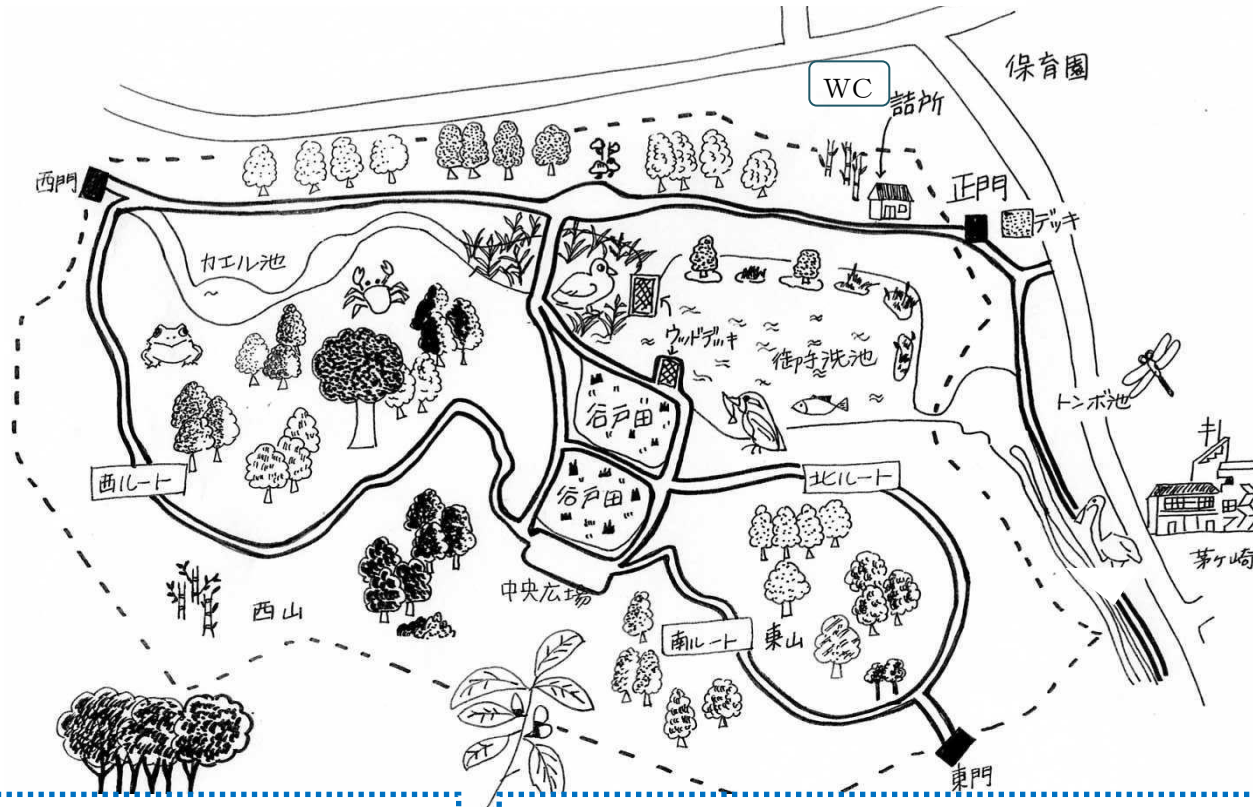
いろいろな実をさがしてみよう

道ばたなどで、赤や青、オレンジ色などきれいな色の実を見つけると目をひかれますね。そして、鳥たちにとっても木の実は大切なエサになっています。虫がいなくなる秋冬の季節、木の実をよくついでいるのを見かけます。鳥が移動して糞をしたとき、中の消化されない硬いタネが地面に落ちて、木は生息する場所を広げていきます。

クサギ シソ科



小高木。
葉をちぎるとくさいにおいがしますが、夏に咲く花は香りよく、アゲハチョウがみつをすいに来ます。実が熟すと、赤い星のような形の「がく」がひらいて、つやつやしたあい色の丸い実が目をつまみます。



マユミ ニシキギ科



低木。
春に小さな白と緑色の花が咲きます。昔はこの木を利用して弓を作ったそうです。丸っこい実がうす桃色に熟すと、割れて中からオレンジ色っぽい赤色の皮に包まれた種子が顔をだします。

コナラ ブナ科

高木。どんぐりの木。
春、新しい葉の出る頃に花をつけます。緑色の実が秋になって茶色く熟し、地面に落ちてきます。
どんぐりコロコロ〜♪
みんなのよく知っている実ナンバーワンかな。



ニシキギ ニシキギ科

低木。
春、うす緑色の6mmほどの小さな花が咲きます。
秋には葉がまっ赤に紅葉し、庭木としても好まれます。実は熟すと割れて、マユミと同じような色の皮に包まれた種子があらわれます。

